コルザ

2018
9月号
No. 398

コルザはフランス語で「菜の花」

生活クラブ 虹の街

目次

特集
10/6 虹いろフェスタ 2018 予告　2・3
第 45 回庄内交流会報告　4・5
活動ファイル　6・7
シンポジウム開催報告
エッコロ福祉基金
2016 年度助成事業成果報告会
東海第２原発運転延長・
再稼動反対署名活動
組合員リーダーツアー
ブロック活動ファイル　8・9
ノンホモでモッツアレラチーズ♪
第一物産見学会
プログラミングの初歩＆おやつ作り
福福お片づけ講座
せっけん情報センター見学
夏休み親子環境学習会
千葉グループ　お知らせ　10・13
生活クラブ風の村　NPO クラブ
VAIC-CCI　UWN ちば
はぐくみの杜を支える会
せっけんの街
イベント・情報　14
クラブちゃん / 申込書　15
９月のデポー　16

詳しくは２・３ページをご覧ください。

組合員の皆さんに７月理事会の報告をします。

1.西日本を中心とした「平成 30 年７月豪雨」災害に対しての支援として、カンパ活動に取り組みます。

2.「虹いろフェスタ 2018」を 2018 年 10 月６日（土）に開催します。会場は、虹の街本部とデポー真砂地域交流スペース渚。19 の生産者、委員会、関連団体など、計 34 のブースを設置します。

3.「東海第二原発運転延長・再稼働反対」活動として、再稼働反対の署名活動、「発電用原子炉設置変更許可申請書に関する審査書案」に対するパブリックコメントの提出などを行います。

4.2017 年に改正したエッコロ福祉助成の運営を振り返り、2019 年度の事業助成に向けた 2018 年度のすすめ方を確認しました。

６月の組織報告　総供給高　677,172,887 円
総組合員数　42,697 人（班 5,027 人　個別 20,900 人　デポー 11,915 人　経済共済 4,855 人）

発行 / 生活クラブ虹の街　発行責任者 / 木村庸子　編集 / 組織部
〒 261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12　tel 043-278-7671　fax 043-279-7490　http://chiba.seikatsuclub.coop/
虹の街 Facebook はこちらから→
★本紙は古紙再生紙、ベジタブルインキを使用。

本部　043・278・7671/ センター柏　04・7134・3801/ センター千葉　043・278・7629/ センター佐倉　043・461・7868
センター松戸　047・385・4646/ センター市原　0436・60・1583/ センターベイ　047・379・1540/ デポー真砂　043・278・0112
デポーみつわ台　043・287・2414/ デポー新松戸　047・348・1210/ デポー大津ヶ丘　04・7191・7359/ デポー松葉町　04・7134・0697
デポー浦安　047・353・0135/ デポー木刈　0476・40・6811/ デポー園生　043・290・0090/ デポーおおたかの森　04・7155・5505

特　集

みんなで来てね！

虹いろフェスタ 2018

10 月 6 日（土）11：00 ～ 15：00、虹の街本部（千葉市美浜区真砂 5-21-12）で 19 の生産者や千葉グループの仲間たちなどを招いて、フェスタを開催します。試食や学びや体験など盛りだくさんの企画をご用意しています。

どうぞ、ご家族・お友だち・ご近所さんを誘ってご参加ください。
「おいしい！」「楽しい！」「面白い！」だけでなく、生活クラブの「ここがイイ！」の発見もきっとあるはず…。

2018 年度の大試食会

今年 3 月から、シンポジウム・フェスタ実行委員会を立上げました。7 月 2 日には、生活クラブ連合会の河野栄次さんを迎え「生活クラブの共同購入運動」についてシンポジウムを行い（報告は 6 ページ）、フェスタ（大試食会）の準備をすすめてきました。

知って・味わって！

シンポジウムに参加した人のアンケートには、「消費材のことがよくわかったので、早速注文したい」「消費材のことを、もっと知りたい」など多くの声がありました。

消費材のことを、もっとよく知っておいしさを味わってもらいたいと、19 の生産者を招きます。

多くの方に参加してもらおうと、参加目標を 600 人にし、組合員でないお友だちやご家族を誘っての参加をよびかけています。

消費材を各ブロックで深堀り

今回のフェスタは、ブロックと生産者が協力して消費材を紹介します。おいしさの秘密や市販品との違い・そのわけなど消費材を深堀りしてその良さを知って味わってもらうのが目的です。

参加受付時に、各ブロックで作成した深堀りポイントが書かれたシートをまとめた冊子を差し上げます。

生産者（消費材）と担当ブロックは以下です。

柏ブロック
（株）AIC：鶏卵
タイヘイ（株）：白だし・丸大豆醤油
マルモ青木味噌醸造（株）：味噌

千葉ブロック
JA 庄内みどり：遊 YOU 米
みえぎょれん販売（株）：パックだし
（株）コーミ：トマトケチャップ

佐倉ブロック
（株）平田牧場：豚肉ロース
伏見蒲鉾（株）：いかめんち揚げなど
（株）ニューオークボ：スパゲティ

松戸ブロック
新生酪農（株）：飲むヨーグルト
日東珈琲（株）：森のコーヒー
私市醸造（株）：調理用合わせ酢など

市原ブロック
（株）秋川牧園：鶏肉モモスライスなど
東京カリント（株）：かりんとうなど
米澤製油（株）：国産ブレンドなたね油

ベイブロック
JA ちばみどり：ちばあさひ米
（株）青い海：素精糖
（有）奥和：あじの開きなど

加えて福祉委員会の
酒井産業（株）：木のおもちゃ
消費委員会は、おにぎりチャレンジの
おにぎりの試食と表彰
環境委員会は、生活クラブでんきとグリーンシステムのアピールを行います。

参加団体をさらにプラス

さらに、首都圏親生会と元気クラブを招き、関連団体（生活クラブ風の村、NPO 法人せっけんの街、NPO 法人地球市民交流基金 EARTHIAN、W.Co 千葉県連合会、NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、NPO 法人 VAIC-CCI、NPO 法人はぐくみの杜を支える会、NPO 法人ユニバーサル就労ネットワークちば、NPO 法人 JFSA、NPO 法人ちばこどもおうえんだん）、くらしと家計の相談室も参加し、ブース毎に団体アピールや販売（一部団体のみ）を行います。

ミニ学習会＆もちつき

知って味わう、ミニ学習会も開催します。

12：30 ～ パプアニューギニアの薫り高いコーヒーのお話（現地視察報告）とパプアニューギニアコーヒーのテイスティング

13：00 ～ 生活クラブの原点！牛乳のお話＆スムージーをつくって飲む

11：30 ～と 13：30 ～ にはもちつきを行います。つきたてのお餅を試食してみませんか。

特　集

加入プレゼント

フェスタ当日に加入された方には、1,000 円のクーポン券とお米 3 合とミニサンプル 3 種をプレゼント！

紹介してくれた組合員には、スパゲティ・のり佃煮・調理用合わせ酢のうちどれか 1 つをプレゼントします。

来場案内

●駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

千葉海浜交通

5 丁目 19 街区下車

JR 総武線　新検見川駅（南口）から 4 分③乗り場

10：02　32　　11：07　42

JR 京葉線　検見川浜から 6 分①乗り場

10：16　51　　11：26　46

5 丁目 23 街区下車

JR 総武線　新検見川駅（ベイタウン船）から 6 分①乗り場

10：28　　11：49

＊　無料送迎をします。

JR 総武線　新検見川駅 → 会場

10：50、11：50

JR 京葉線　検見川浜駅 → 会場

10：20、11：20

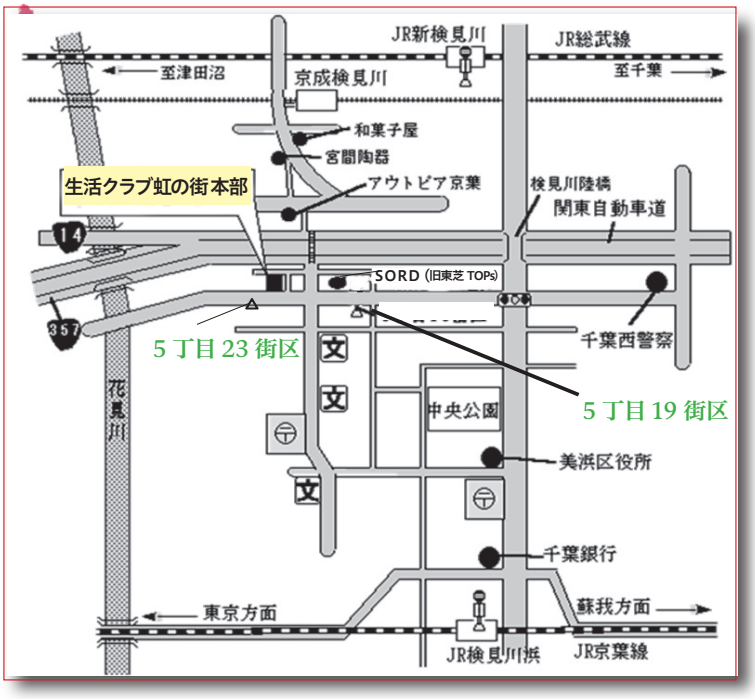
京成線　検見川駅 → 会場

10：40、11：20　40

＊利用希望の方は、整理の都合上なるべく参加申し込み時に予約してください。

●試食用の箸やお皿を各自ご用意願います。

＊レンタル食器も用意します。ご利用はデポジット制（食器返却時に返金）です。



生活クラブ虹の街フェスタ実行委員会

フェスタの内容は随時更新されます。詳しくは HP をご覧ください。参加申し込みもできます。

特　集

第 45 回　庄内交流会

7 月 22 ～ 25 日の日程で今年も庄内交流会が行われました。生活クラブの各単協から総勢 70 人、虹の街からは 7 人が参加しました。見学や交流を通して学んだ、産地の状況や課題などについて報告します。

地域農業と日本の食料を守り、持続的な社会と地域を発展させる共同宣言

遊佐の皆さんは、みんな笑顔で眼がキラキラと輝いていました。そんな皆さんのパワーと優しさが「環境保全型農業」や「地域内資源循環」に繋がっているのだと実感しました。

遊 YOU 米から広がる消費材の輪があります。「遊佐をまるごと食べて、未来の食を守る」私たちは、食べ続けること、そして食べ続けていく後継者をつくっていくことで応援していきたいと思います。

千葉ブロック　理事　宮内京子

太陽光発電

「庄内・遊佐太陽光発電所」は、現在 50％（67,848 枚中半分）のパネルの設置が完了していました。12 月には受電予定で年間約 5,000 世帯に相当する発電量が見込まれます。

組合員と生産者が力を合わせ、再生可能エネルギーの普及と原発のない社会をめざして工事は順調にすすんでいます。

佐倉ブロック　理事　根本江美子

安定した食の確保…ビジョンフードよやくらぶ（米）

共同開発米は、鳥海山からの湧き水と豊かな自然環境を守る努力をしながら私たち組合員に「良いお米を食べてもらいたい」との想いで大切につくられています。

よやくらぶは安定した利用が見込めるので生産者は安心して米作りができます。お米を食べる量も減っている時代ですがおいしく食べていきたいと思います。生産者の方々の多くの課題があっても前向きに取り組んでいく力強さと温かな人柄の笑顔が印象的でした。

市原ブロック　運営委員　齋藤茉莉

庄内の農産品

羽黒・のうきょう食品加工（有）を見学しました。地下 240 mから汲み上げられる水質の良い井戸水を利用し、地元野菜が漬物や水煮へと加工され、私たちの消費材として食卓に並びます。

衛生面や温度管理に気を付け添加物に頼らない消費材づくりに取り組んでいます。つくる際に出る食物残渣は堆肥化され、近隣の生産者の畑へ散布するなど資源の循環も行われていることを知り、地域循環の仕組みをより感じることができました。

ベイブロック　理事　善塔晃子

米育ち豚

それは私たち組合員に欠かすことのできない平田牧場の豚肉です。平田牧場の豚は米を食べていますが、なんとこの豚の食べる米も減農薬で栽培されています。遊佐町の米農家さんが「豚を食べるのは人。だから飼料用米も減農薬でつくっています」と。

この度、長年の生活クラブと取り組んできた飼料用米で育てられた豚肉が、第 1 回飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト農林水産大臣賞を受賞しました！大切に育てられた豚肉。次の世代にも残していきたいですね。

柏ブロック　理事　土屋妙子

初めての生産地を見学

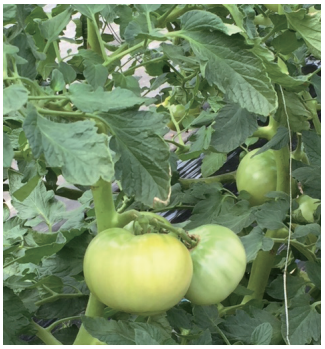
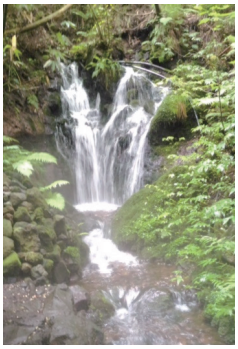
一番印象に残っているのは、どの生産者も組合員さんのことを思い、なるべく農薬を使わないためにとても努力していたことです。炎天下農産物の世話や暑い工場内の作業はとても大変だと感じました。そんな生産者さんのためにも、しっかりと利用の推進をしていきます。

センター柏　職員　三塚友樹

五感をフル回転させた庄内交流会

生活クラブ連合会の消費委員として参加しました。大江町のトマト農園見学からスタート。暑いハウスのなかで

特　集

のトマト栽培や急斜面にあるりんご農園。環境や地形を見ただけでも大変さがわかります。

野菜は種を守るために糖度を上げ、故においしくなります。おいしいものを求めることは暑さに作物が耐え、その環境下での生産者の作業あってこそなんだとその重みを実感しました。

遊佐町のメガソーラーは圧巻。この先この地でどんな地域づくりがされていくのでしょうか。ワクワクします。

田んぼは青々。その後の意見交換会では気象や虫や後継者など直面している課題など厳しい現実を知りました。

そして、豚肉。飼料用米の取り組みや一頭飼いで食べていくことの大切さを改めて学びました。

五感をフル回転させた庄内交流会。作る手食べる手その手はひとつ。持続可能な社会をつくっていくには、このような産地と消費者の交流をこれからもひたむきに続けていくことが必要且つ大事だと思いました。

副理事長　福住洋美

千葉でも…

遊佐消費地交流会

7月 12 日、地域交流スペース渚にて、遊佐町共同開発米部会の池田恒紀さん、JA 庄内みどりの川俣洋さん、生活クラブ虹の街元副理事長で現在は遊佐に移住した辻成子さんを招き、遊佐消費地交流会「聞いてみよう！お米の話　みんなで食べよう！おにぎりを」を開催しました。

池田さんは、自身で撮影した遊佐の風景を写しながら、「遊 YOU 米は現在、ひとめぼれ８：どまんなか２のブレンド米。名前の由来は『遊』佐町と『YOU（あなた）』と一緒につくっているという意味です。品種を２種類にすることで収穫期がずれ作業スケジュールが立てやすく、天候被害などのリスクを分散できます。遊佐は山形県庄内平野の北端に位置し、鳥海山の麓から湧き出す水がいろいろなところで使われ、町全体でせっけんを使うなどして水質保全に積極的に取り組んでいます」。

「米の種まき、種（米）を 60℃のお湯につけるところからスタートします。田植えが終わると穂が出るのを待つだけと思われがちですが、途中除草したり追肥したりとすることたくさんあるんですよー」と池田さん。

遊佐で作られた飼料用米は平田牧場の豚のエサに、排泄物は有機肥料になり、その肥料で池田さんはアスパラガスもつくっています。「自分のつくった米がこのように循環するのが目に見えるのが楽しい」と嬉しそうに話しました。

川俣さんは、遊佐の魅力・せっけん活動の実績と共に「山形県は 20 成分回数が一般的なのに対して遊 YOU 米の農薬使用は８～９成分回数の特別栽培米です。奥羽山脈から吹きおろす風により風通しがよく、農薬を使わない環境です」。

辻さんは、生活クラブの組合員活動で遊佐の魅力を知り、移住に至った経緯などを話し「今では、おこしづくりなどもしています」。

昼食は、現在開催中の「おにぎりチャレンジ」でエントリーされた３種類のおにぎりを生産者の方も一緒につくり、遊 YOU 米のおいしさやお米の大切さを感じながら食べました。

池田さんと同様に、直接会って互いの話を聞きながら想いやおいしさを共有できること。この関係がとても素敵だなと改めて感じました。消費委員　小川安由美

活動ファイル

シンポジウム開催報告

7 月 2 日、津田沼モリシアホールにて、シンポジウム「発見！生活クラブの原点」を開催し、123 人が参加しました。

第 1 部の基調講演は「カンブリア宮殿」に出演の生活クラブ連合会顧問・河野栄次さんを講師に迎え、テーマは「生活クラブの共同購入運動」について。「カンブリア宮殿の取材は台本なしのぶっつけ本番でした。取材を受けた組合員や生産者が、自分の言葉ですぐにあれだけ話せたのはすごい！」と取材時の裏話から始まりました。

生活クラブは牛乳をまとめ買いして安く分け合う共同購入からスタートしました。脱脂乳や加工乳が主流だった当時、確かな品質の牛乳を手に入れるため酪農家と共同出資をして自前の牛乳工場を設立しました。「人間が人間らしく生きる社会の仕組みをつくる」それが生活クラブの原点。

「よその企業が生活クラブのマネをすることは大歓迎！」というのも、「消費者が素性をわかって買うことができるようになるから。共同購入は、社会の仕組みを変えることができるんです」と河野さん。

第 2 部はパネルディスカッション（4 人のパネリストの活動紹介）を行いました。

牛乳の生産者・新生酪農（株）の麻生一夫さんは、牛乳工場設立から現在までの経緯と、原乳の質を損なわない牛乳へのこだわりを紹介。

かりんとうの生産者・東京カリント（株）の西村圭史さんは、生活クラブの甘いお菓子第 1 号として取り組みが始まるまでの開発の苦労を語りました。「カラメル不使用など組合員からの要望は、当時の業界常識を覆す挑戦の連続だった」と西村さん。

（企）ワーカーズ・結（生活クラブ虹の街の配送業務を受託しているワーカーズ・コレクティブ）で働く五十嵐紀子さんは、組合員活動を活かして、消費材を組合員に届ける仕事について紹介しました。

組合員代表の松田加奈子さんは、加入のきっかけや佐倉ブロックでの組合員活動について話しました。

参加者からは、東京カリントの自主監査に参加した組合員が製造現場のようすを話しました。アンケートには、「河野さんのお話しを直接聞けて、生活クラブに加入してよかったと改めて思えた」「生活クラブの原点を知り、自分も活動を通して新たな歴史をつくり、子どもたちに繋げていきたい」「生産者の熱い思いを聞き、牛乳・かりん糖、早速注文します」「もっと話しを聞きたかった」などが寄せられました。

10 月 6 日に 19 の生産者招いて「虹いろフェスタ 2018」を開催します。詳細は 2.3 ページへ。

シンポジウム実行委員会

エッコロ福祉基金 2016 年度助成事業成果報告会

7 月 10 日、地域交流スペース渚にて、「生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金 2016 年度助成事業成果報告会」を開催しました。

「エッコロ制度」は、多くの組合員の参加によりつくられた大きな「たすけあい」の輪で、地域につながることが目的です。皆さんからの毎月 100 円の掛け金のうち 20 円がエッコロ福祉基金で、虹の街に関係する地域づくりや福祉事業に活かされるエッコロファンド、地域の NPO などが行う地域社会に有用な事業（地域で高齢者・障がい者・子どもたちへの次世代育成、生活困窮者に関わる活動など）を経済的に支援するエッコロ福祉助成があります。

報告会では 2016 年度に助成が決定した 8 団体から、助成事業の報告がありました。団体の事業・活動紹介や、助成金の使いみち、その成果について。各団体の代表の方から丁寧な報告があり、新たな事業をスタートするための準備、活動で必要な備品の購入、障がいのある人も利用しやすいように設備を整えたり、認知症の方々が中心となり講演会を開催したり…と、どの団体も助成金を有効に使い、充実した活動を継続することができ、大変感謝しているとの感想がありました。

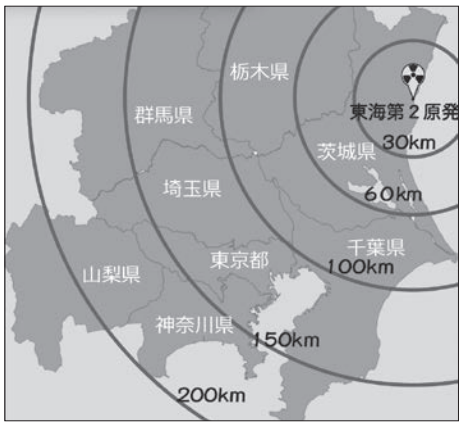
今後もこの 8 団体と交流をもち、私たちも地域での福祉活動に関わる機会を持ち続けていきたいと思います。

第 2 部は、公益財団法人地域創造基金さなぶり・専務理事の鈴木祐司さんによる講演「助成事業の成果を活かす次の戦略」。「地域の暮らしと命を育み地域活動の成長にために共にできること」をテーマに、助成を受けるためのノウハウやポイントのお話しは、和やかななか終了しました。

活動ファイル

現代社会は、誰もが社会的弱者になる可能性があります。それを一人ひとりが認識し、社会や地域から排除されることなく、自分らしく地域で暮らし続けることができるように、生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金「エッコロ福祉助成」は地域の団体を支援していきます。　　福祉委員　神谷洋子

「東海第２原発」運転延長・再稼働反対署名活動



７月 16 日、茨城県牛久市で「東海第二原発のゆくえと私たちにできること」講演会が開催されました。講師は小川仙月さん。「東海第２原発」の運転延長・再稼働に関する疑問点や矛盾点を語りました。

「東海第２原発は、東京の端までたった 100km で、周囲に人口が密集する首都圏原発です。30km」圏内に 96 万人が居住し、首都圏は 200km 圏内に入ります。また、稼働 40 年を目前とした老朽化した原発であり、震災時に被災した日本一危険な原発でもあります。さらに、再稼働認可に至る経緯にも不可解な点があります。震災後に、あの悲劇を二度と繰り返さないためにつくられた新しい再稼働の基準があるにもかかわらず、その基準に満たない欠陥を、経済的理由から、代替策というごまかしで、審査を通過しています。他にも、福島原発と同じ古い基準の設計による設備の脆弱性など、問題点がいくつも挙げられます」と小川さん。

講演後の質疑応答も活発に行われ、住民がないがしろにされている現地の方の怒りを肌で感じました。

虹の街では、この再稼働を何としてでも止めるために、「とめよう！東海第２原発首都圏連絡会」の活動に賛同し、署名活動に取り組みます。

配送センターでは８月 20 日から、デポーは９月の情報配布より、「東海第２原発」運転延長・再稼働反対活動のちらしを配布します。

署名の締め切りは 10 月５日。配送センター・デポーで用紙を受付ます。生活クラブ千葉 HP にも記事を掲載し、署名用紙のダウンロードも可能です。

組合員の皆さん一人ひとりの意思表明が重要です。ご協力をお願いします。

組織部　宮間亮介

組合員リーダーツアー

７月 28・29 日、秋田県にかほ市と山形県遊佐町にて組合員リーダーツアーが開催され、生活クラブの首都圏４単協（東京・神奈川・埼玉・千葉）から大人子ども併せて 28 人が参加。虹の街（千葉）からは５人が参加しました。

今回のツアーは「ドキュメンタリー映画『おだやかな革命』を巡る旅」。

１日目は、2012 年３月から稼働を開始した風車「夢風」が立つ、にかほ市で大迫力の風車を真下から見学。そして参加者代表として、なんと風車のナセルにあがることができました。

命綱をつけながら 80 mのタワーをエレベーターで一気に上がり、回るブレードの横の梯子を登り、なんとかナセル登頂！爽快な風に広大な景色。夢風に登ったー！と喜びも束の間。下には、先ほど乗ってきたバスと手を振る組合員の皆さんがとても小さく目に映り、急に足が竦んでしまいました。それでも雄大な鳥海山や日本海、仁賀保高原、壮大な素晴らしい景色をしっかり目に焼き付けることができました。

２日目は、2019 年１月から稼働予定のメガソーラー建設地を見学に、山形県遊佐町へ。太陽光パネル 67,000 枚、年間 18,000 メガワットを計画していると話では聞いていても、なかなか想像がつかなかったメガソーラー。バスから降りて目の前に延々と広がるソーラーパネルは圧巻！これからも建設は続きます。このメガソーラーの発電による CO_2 削減量が年間 7,600 トンにもなります。稼働開始まであと半年あまり。並べられた太陽光パネルが始動開始を待ちわびているように見えました。

風車「夢風」も、太陽光発電メガソーラーも、原子力発電に替わる持続可能な自然エネルギーのひとつとなり、原発のない社会がもうそこまできていると、期待せざるをえませんでした。

私たちが使う電力を自然エネルギーに切り替えることで、原発に頼らない意思表示ができることをたくさんの方に伝えていきたいと思います。

佐倉ブロック 運営委員
小林友子

ブロック活動ファイル

＊ QR コードで各ブロックの Facebook へ！

柏ブロック　ノンホモでモッツァレラチーズ♪

7月6日、野田市欅（けやき）のホール4階調理室にて「ノンホモでモッツァレラチーズを作ろう♪」を開催し、7人が参加しました。

最初に「ノンホモ牛乳って何が違うの？」と牛乳について考察。パスチャライズド製法などの説明をし、ノンホモ牛乳とは､脂肪分のホモジナイズ(均質化）処理をしない牛乳のことで、上にクリームが浮いてくるなど、生乳により近い、まろやかな風味が楽しめることを興味津々の皆さんの目前でノンホモ牛乳でも確認しました。

モッツアレラチーズ作りのデモンストレーションを行い、2グループに分かれて参加者全員で、いざ体験。

ノンホモ牛乳の意外な使い方に「こんなに簡単なら家でも手軽にモッツァレラチーズが食べられるね！」「これから子どもと夏休みの自由研究にもいいね♪」など､ノンホモをさっそく使ってみたくなったとさまざまに意見交換。

鍋に残ったホエー（乳清）という白い液体でパンケーキを作りました。独特のモッチリとした焼きたてのおいしさにも驚きの声。

無駄なく簡単においしい体験で、組合員同士の消費材に対する「たしかな品質の安心できる食材」への思いが繋がる、大切なひと時となりました♪

運営委員　名児耶章子

松戸ブロック　第一物産見学会

7月6日、（株）第一物産の野田工場を見学しました。食のフォーラムメンバーを中心に6人が参加しました。建物に入るとキムチの香り。事業統括本部長の安秀振さん、野田センター長の李智訓さんが出迎えてくれました。

まずは第一物産の沿革、キムチの歴史や効能、生活クラブとのあゆみや消費材について話を聞きました。予備知識が頭に入ったところで白衣に着替えて、いよいよ工場内部へ。

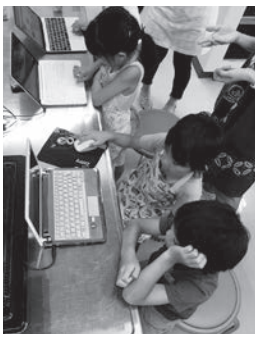
2階には、キムチの素となるヤンニョム(薬味)の製造ライン。ヤンニョムは出汁から丁寧につくられています。地下は白菜等の下処理、ヤンニョムの塗りこみ。白菜の漬け方に職人さんの技が光ります。1階は包装室。キムチは0～2℃に保つと1ヵ月は保存可能で、温度管理が徹底されていました。

見学後、いよいよキムチ作りに挑戦。塩漬された白菜にヤンニョムを塗りこみます。葉を1枚1枚めくりながらの作業はとても手間がかかります。全体にもまんべんなく塗り、ヤンニョムが出ないように外葉で包み整えたら袋に詰めます。素材を吟味し、無添加で手間暇かけてつくられていることがわかりました。

最後にイカと白菜のキムチチヂミとチャプチェを試食しました。おいしいチヂミに箸がとまりません。消費材の話にも花が咲き、生産者の思いを知る貴重な機会となりました。

運営委員　上原倫豊子

ベイブロック　プログラミングの初歩＆おやつ作り



7月26・27日、浦安市富岡公民館にて､コミュニティ･クラブ･ラ･ヴィータベイの出雲路（いずもじ）めぐみさんによるプログラミングの夏休み親子企画が開催されました。2日間で11組の親子が参加しました。

子どもたちは､「Hour of Code」という教材を使い、プログラミングの初歩を学びました。英語の表記が出てきても、抵抗なく楽しんでいる子ども達。「英語に抵抗があるのは大人だけ。子どもには余計な先入観を与えずどんどん触れさせてほしい。プログラミングで論理的思考を養うことができます」と出雲路さん。

プログラミングを学びながら、生活クラブの消費材を使ったマドレーヌ作りにも挑戦。出雲路さんが消費材を子どもたちにわかりやすく説明しながら、おやつ作りがすすみました。焼き上がりが待ちきれず、オーブンの前に集まってカウントダウンしているようすが微笑ましかったです。粉ふるいも湯煎も必要なしの簡単マドレーヌ、驚きのおいしさでした。また用意してくださった蒸し野菜や具沢山の豚汁・炊き込みご飯などのランチに、大人も子どもも大満足。頭も胃袋も満たされた講座となりました。

運営委員　藤原あゆみ

ブロック活動ファイル

千葉ブロック

福福お片づけ講座

7 月 10 日、八千代市の緑が丘公民館にて、コミュニケーションひろば講師の田中実恵さんを招き、「福福お片づけ講座」を開催しました。とても人気の講座で組合員 20 人が参加し、お片づけについて学びました。

カードを使ったビジューワークでは、チーム毎に話し合いいろいろな意見交換がされ、大変盛り上がりました。「やるしかない！」「早く帰って片づけたい！」そんな声も上がるほど、皆さんをやる気にさせます。

防災の観点からのお片づけや回転備蓄についての話しもありました。万が一の時も、できるだけいつも通りの食事をすることで、災害を乗り切れる体や心を保つことができると思うので、食材の備蓄もしようと思いました。

講座の後は、八千代市で「エッコロおたすけ隊」もしているコミュニティ・大きなかぶのおいしいランチ。コミュニティメンバーからエッコロや、生活クラブでんきの話しもあり、皆さん心もお腹も大変満たされ、さらにパワーアップした一日になったと思います。

運営委員　金本　綾

佐倉ブロック

せっけん情報センター見学

6 月 25 日、運営委員会と環境フォーラムメンバー計 5 人で酒々井町にある NPO 法人せっけんの街印旛沼せっけん情報センターを見学。ここでは「せっけんの街固形せっけん」と「ジェルせっけんこはく」、「台所用液体せっけんおれんじ」をつくっています。

廃食油でつくったせっけんは、水に溶けやすくもちろん香料や蛍光増白剤も含みません。洗い物のコツは、油汚れなどを拭き取ってから（ここが大切！）目の粗いスポンジでよく泡立て洗うと節水にもなり汚染の一番の原因になる家庭雑排水を減らすこともできます。合成界面活性剤を含まないので肌にもやさしく、汚れもスッキリ。

固形せっけんは、台所だけでなく、上履き洗いや洗濯の襟汚れもきれいになります。つくり方は、廃油に苛性ソーダを合わせて釜炊きします。見学しているだけで汗が落ちてくるほどの暑さのなか、目と手の感触で調整しながらの作業は過酷です。大切につくられたせっけんへの想いがますます深まりました。廃食油を回収してせっけんをつくり、次世代を担う子どもたちに環境を守ることの大切さを伝える環境学習も行っている「せっけんの街」。応援する為にも、さまざまな機会でせっけんの良さを伝えていかなくては！と強く感じました。

理事　根本江美子

市原ブロック

夏休み親子環境学習会

7 月 27 日、鎌取コミュニティセンター（千葉市緑区）にて、コミュニケーションひろばからＮＰＯせっけんの街チームあらうべの道端園枝さんと川野美津子さんを講師に「実験で楽しく「せっけん」を知ろう！」の親子環境学習会を開催。10 組の親子が参加しました。

私たちは 1 人 1 日に何ℓの水を使っているでしょうか？なんと 319 ℓ（2 ℓのペットボトル 160 本）です！お皿に付いた汚れは拭き取ってから洗う。汚れた水をきれいにするには、たくさんの水を使います。その水が飲み水になるとしたら水の使い方にも責任を持って生活しなければと考えさせられました。

合成洗剤に添加されている蛍光増白剤の実験では、テントのなかでブラックライトの光に反応して布が光り、その布巾で蒸した肉まんに付着した「光る肉まん」の写真には悲鳴があがりました。他にも安全なシャボン玉液の作り方、夏休みの自由研究になる「かいわれ大根の発芽実験」、こねこねせっけんで好きな形のせっけん作りも。

せっけんは、安全で手肌・環境にもやさしいです。水を汚さない暮らし、私たちにできること、親子でせっけん生活を始めてみませんか？

運営委員　浦上　恵

生活クラブ千葉グループは、県内の生活クラブ関連９団体の総合力で地域社会をより住みよく暮らしやすくするために社会問題の解決とコミュニティの再生に寄与します。

生活クラブ風の村

あなたの尊厳を守ります。

【事業本部】佐倉市王子台 1-28-8 ちばぎん臼井ビル４階
tel：043-309-5811　fax：043-460-8844
http://www.kazenomura.jp/
e-mail: info@kazenomura.jp

生活クラブ風の村保育園佐倉東　保育士募集！

2016 年４月に開園した新しい園です。
木造の園舎で気持ちよく保育しませんか？
「保育士資格を活かしたい」「生活クラブで働きたい」
そんなあなたを、お待ちしています !! お友だちにもご紹介ください。

	保育士（正規）	保育士（パート）
資格	保育士	保育士
勤務日数	週 5 日	週 5 日（応相談）
時間	通常：8：30 ～ 17：30（実働 8H） ＊早番（6：45 ～）、遅番（～ 20：00）有り	週 30 時間以上（応相談）
給与	月給　231,000 円～　＊経験等を考慮します 賞与有り	時給　1,160 円～ ＋処遇改善手当など （月額 :30,000 円程度）
その他	・各種社会保険有り ・退職金制度有り ・自動車通勤可（駐車場有り、駐車料金事業所負担）	

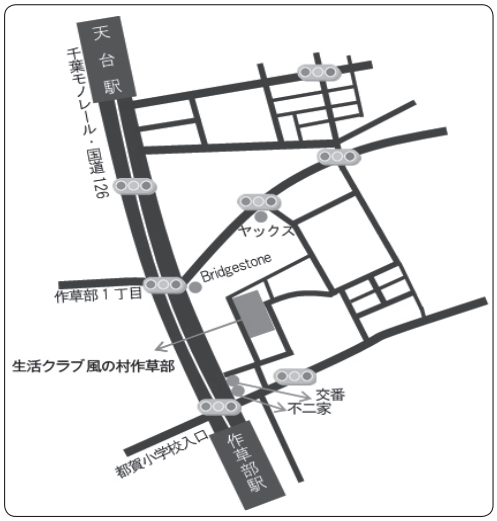
勤務地：佐倉市本町 142-1　京成佐倉駅徒歩 16 分、または京成佐倉駅バス 3 分（園前バス停有り）
問い合せ：043-481-0225（担当：井口）

風の村作草部　「買い物バス」はじめました。

生活クラブ風の村作草部では、地域のニーズに応えるかたちで「買い物バス」から安心システムの取り組みをスタートさせました。月2回（第2、４火曜日）運行しており、5月に始まったばかりですが、平均4人程の利用があります。

作草部の地域は、地区社協と自治会の活動が活発です。今後も地域の方と連携しながら、認知症サポーター養成講座開催、認知症カフェ、地域食堂など…できることからすすめていきたいと思います。

生活クラブ風の村作草部
〒 263-0015　千葉市稲毛区作草部 1-15-17
tel：043-445-8920



稲毛区内の大型商業施設でお買い物

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

NPOクラブ　年に一度の講座「自己表現トレーニング」もうすぐ開講！

市民のチカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる。

【住所】千葉市美浜区真砂 5-21-12
tel：043-303-1688　fax：043-303-1689
http://npoclub.com/
e-mail: npo-club@par.odn.ne.jp
（認定 NPO）ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

自分ときちんと向かい合う　自己表現トレーニング基礎Ⅰ

言いたいことが言えない、
言い過ぎた…と気づいても、
あきらめていませんか。
その「気づき」こそ、
変わることができる証です。
相手も自分も尊重する
コミュニケーションの基礎を学び、
自分らしく生きるための
力をつける講座です。

日時：10/2、9、16、23、30（火）10：00 ～ 12：00（全 5 回）
場所：NPO 法人ウィメンズカウンセリングちば
（千葉市中央区市場町 10-10　東京ビル 3 階　tel：043-224-7909）
アクセス：JR 本千葉駅徒歩 8 分・モノレール県庁前駅徒歩 3 分※駐車場はありません
内容：アサーティブネスとは／コミュニケーションパターン／感情と感情表現／
怒りについて・権利について／ポジティブシンキング
講師：馬渡静枝さん（ウィメンズカウンセリングちば）
定員：女性 10 人（申込み先着順）
受講料：12,960 円
※「基礎Ⅰ」修了者を対象に、11/6 より「基礎Ⅱ」を開講します（火曜日・全 5 回）。
申込み・問合せ：NPO クラブ　tel：043-303-1688

VAIC-CCI　福祉サービス第三者評価調査員　募集！

だれもが自分らしく安心して暮らせる地域に。

【事業本部】千葉市稲毛区園生町 1107-7
tel：043-290-8015　fax：043-290-8016
http://www.vaic-cci.jp/
e-mail: info@vaic-cci.jp
（認定 NPO）VAICコミュニティケア研究所

私たちは、暮らしやすい地域づくりのために、ボランティア・子育て・障がい者・地域交流の支援、生活支援など、さまざまな事業に取り組んでいます。
私たちは、一人ひとりの暮らしを大切にしています。

VAIC-CCI は千葉県が認証した評価機関です。あなたも評価調査員になってみませんか？

福祉サービス第三者評価調査とは…
◆調査対象は特別養護老人ホームやグループホーム・デイサービスセンター・保育所などです。
◆実際に訪問してサービスの質の評価をします。
事業者のサービスの質の向上のための取り組みを支援することが目的です。事前資料を基に、実際に施設などを訪問して評価をします。
① 評価項目に沿って管理者などにインタビューする。
② 利用者と一緒に食事をするなどして、職員と利用者の関わりを見る。
③ 介護計画書などの資料を確認する。
◆評価結果は、利用する人や家族がサービスを選ぶための情報として WEB で公表されます。

＜評価調査員募集について＞
●対象となる方
介護福祉士・保育士などの資格があり、3 年以上の経験がある方
常勤職員 20 人以上の部署を統括する業務で 3 年以上の経験がある方…など
●県が定めた研修を受ける必要があります。
詳しくはお問合せください。
043-290-8015(担当 : 澤村)

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

UWN ちば

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちばの活動を知ってますか？

誰もがはたらきやすい社会をめざして。

【住所】千葉市中央区中央 3-9-9 エレル千葉中央 304
tel：043-306-2564　fax：043-306-2574
http://uwnchiba.net
e-mail: info@uwnchiba.net　（NPO）ユニバーサル就労ネットワークちば

uwnchiba.net
最新情報をネットでCHECK！

ユニバーサル就労ネットワークちばの活動

働きづらさをかかえる人の「はたらきたい」を支援しています！

社会福祉法人生活クラブで始まったユニバーサル就労システムではたらく人を支援する活動から、現在では「総合的な就労支援」を行うようになりました。

就労支援事業
- ユニバーサル就労支援センターちば（はたらく総合相談窓口）
- 千葉市・松戸市就労準備支援室（委託事業）

どこに行って相談をしたらいいのか分からない方には、その方に合った支援がなにかというところから一緒に考える伴走型の支援を行っています。今年度からは「ユニバーサル就労支援センターちば」と名称を変更し、総合相談窓口を開設しています。

就労支援からひきこもり支援へ

就労支援を徐々に実施していくなかで、まだまだはたらくには準備が必要な「ひきこもり」状態にある方々についても支援が始まりました。

現在は「千葉市ひきこもり地域支援センター」や「浦安市ひきこもり相談事業」の受託運営も行うようになりました。

ひきこもり支援から子ども・若者支援へ

ひきこもりの支援を開始すると、自然な流れで「不登校」というワードを目にするようになります。就労支援から子ども・若者分野までを一体的に支援をしたほうが効果があることから、今年度は「千葉市子ども・若者総合相談センター（Link）」の受託運営を行っています。

こわか・ひきこもり相談事業
- 千葉市ひきこもり地域支援センター
- 千葉市子ども・若者総合相談センター（Link）
- 浦安市ひきこもり相談事業

県外事業のお手伝いもしています！

千葉での実践を元に岩手県陸前高田市や三重県鳥羽市で「ユニバーサル就労（誰もがいきいきとはたらける地域づくり）」の理念を元に、事業展開をすべくサポートを行っています。今年度は両市とも具体的な活動がスタートしていく予定となっており、今からとても楽しみにしています。

就労支援のコンサル・広報事業
- 岩手県陸前高田市
- 三重県鳥羽市
- その他、全国で研修や講演を実施

法人独自の交通費給付基金も実施

支援するなかで交通費がなくて相談に来られない、就労体験に行けないという方のニーズに答えられるよう、昨年度から「チャンス創造ファンド」を法人独自に立ち上げ、皆さまからの寄付を元に給付活動を行っています。

交通費基金
- チャンス創造ファンド

これからも当事者の方のニーズを細かく把握しながら、必要なものを速やかに事業化していける法人でありたいと思います！ご寄付・応援よろしくお願いします！

問い合わせ先：法人事務局
tel：043-306-2564
mail：info@uwnchiba.net
URL：uwnchiba.net
★ Facebook もやってます！

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

せっけんの街

夏休み花見川終末処理場見学会

処理後の水は鯉の泳ぐ玄関前の噴水池に注がれている

生まれてくる新しい生命のために。

【本部】柏市小青田 29-2
tel：04-7134-0463　fax：04-7134-7468
http://www.sekkennomachi.org/
e-mail: info@sekkennomachi.org
（NPO）せっけんの街

7 月 26 日、せっけんの街では、成田空港をはじめ印旛沼周辺の自治体の下水処理を行っている花見川終末処理場見学会を行いました。佐倉ブロックを中心にちらしを配布し、組合員 10 世帯 27 人が参加しました。

水の巡りに負担をかけない

せっけんの街からは紙芝居で、食器の油や酢などを拭き取って下水処理に負担をかけないよう呼びかけた後、下水道の仕組みについて職員の方から解説を受けました。小学生でもわかりやすく、アニメーションビデオで水の巡りについて説明されています。

重要な微生物の働き

千葉県の下水道普及率は現在 70%。雨水も処理する合併処理浄化槽の普及もすすめられています。広域の下水道でも家庭の合併浄化槽でも、活性汚泥のなかの微生物が分解に大きな役割をしています。花見川処理場では、一日に印旛沼圏域の汚水 26 万キロℓを処理し、花見川第二処理場と合わせ 41 万キロℓにもなります。「微生物の役割を助けるため、洗剤は適量を使用してください」と説明されました。余剰汚泥はその後圧縮され焼却処理されます。処理された水は、次亜塩素酸（水道水と同じ 1mg/1 ℓ）で大腸菌を殺菌し、その後河川へ放流されます。

お土産はせっけんの街の粉せっけん

見学者には、4 月からボトル入りのせっけんの街の粉せっけんが配布されています。微生物の活動を妨げず、PRTR 制度で有害とされる指定物質を含まないせっけんは、啓発活動にも使われていました。

はぐくみの杜を支える会

すべての子どもの笑顔のために。

【住所】君津市糠田 64 番地
tel & fax：0439-32-2270
http://hagukuminomoriwosasaerukai.jimdo.com/
e-mail: hagukumi-sasaerukai@aroma.ocn.ne.jp　(NPO) はぐくみの杜を支える会

生活クラブ虹の街　福祉委員会発
～私たちの「ちばあさひ米」を食べてもらおう！～

2015 年度より始まったこの活動は、4 年目を迎え、今年の組合員のみなさんからお米の寄付は、1,975kg/303 人になりました。多くの方に、はぐくみの杜を支える会の会員（192 口 /95 人）にもなっていただきました。

本当にありがとうございました。

はぐくみの杜君津施設長　高橋克己さんより

お礼のメッセージが届きました

皆さま、はぐくみの杜へのお米の寄付活動にご協力いただきありがとうございます。心から感謝申し上げます。

はぐくみの杜は、食事を若いスタッフが必死に完全調理しています。現代の食文化のなかで育ってきた世代のスタッフが、お互いに情報交換をしながら、それぞれのスタッフの自分とは異なった食文化を学び、ボランティアさんのつくる料理に触れ、さまざまな発見をしながら家庭料理を身につけていくことは、とても良いことだと思っています。食事づくりに不安を訴えるスタッフに、ある支える会の方がこんな助言をしてくれました。

「とにかく、米をたらふく食べられるおかずをつくったらいいよ。子どものうちは、とにかく米をたくさん食べることだよ」と。

とかく、おかずを中心にメニューを考えてしまいがちな現代、懐にすっと落ちて肩の荷が下りる言葉でした。この言葉をモットーに、日本の家族文化の起源である米文化を再確認しながら、はぐくみの杜は、お米を中心とした食生活をつくり上げていきたいと思っています。どうか、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

イベント・情報

3.11 その後 子どもたちへの影響とエネルギーの未来

3.11 甲状腺がん子ども基金 代表理事 崎山比早子さん・飯館電力 取締役 千葉訓道さんの講演と甲状腺検査活動報告。詳しくは、8/20 ～配布のちらしをご覧ください。

9 月 28 日（金）10：00 ～ 12：30
会場：習志野商工会議所　大会議室
（習志野市津田沼 4-11-14）
託児：あり
担当：組織部　宮間　043-278-7172

ブロック企画

デポーバースデー
9 月 21 日（金）10：30 ～ 15：00
9 月 22 日（土）10：30 ～ 15：00
デポー松葉町
担当：三宅　04-7134-3801

エコピカ
9 月 21 日（金）10：00 ～ 12：30
センター松戸　託児あり
担当：鈴木　047-385-4646

オレンジカフェ流山
9 月 22 日（土）13：30 ～ 15：00
生活クラブ風の村サポートハウスから風流
担当：三宅　04-7134-3801

私に似合うメイクって？
9 月 26 日（水）10：00 ～ 13：00
紙ふうせん（野田市）
託児あり　参加費 300 円（ゲスト 500 円）
担当：三宅　04-7134-3801

カモミールクッキング
9 月 26 日（水）10：00 ～ 13：00
センター松戸
託児あり　定員 10 人　参加費 500 円
担当：鈴木　047-385-4646

コットンラボ（株）生産者交流会
身体にやさしいナプキンを学ぼう
9 月 26 日（水）10：30 ～ 12：30
デポーみつわ台 2F 地域交流ルーム
託児あり　定員 15 人　参加費 100 円
担当：清松　043-278-7629

ポーセラーツでハロウィンプレート
9 月 28 日（金）10：30 ～ 12：00
おたかの森 地域交流スペースこだち
託児あり　参加費 1,500 円
担当：三宅　04-7134-3801

天然酵母パン作り
9 月 29 日（土）10：30 ～ 13：30
おたかの森 地域交流スペースこだち
定員 8 人　参加費 800 円（ゲスト 1000 円）
担当：三宅　04-7134-3801

オレンジカフェ
10 月 1 日（月）13：30 ～ 15：30
市民ネットワーク野田事務所
参加費 100 円
担当：三宅　04-7134-3801

佐々木和子の会
10 月 1 日（月）10：00 ～ 12：00
デポー大津ヶ丘 地域交流スペース陽だまり
参加費 300 円（ゲスト 500 円）
担当：三宅　04-7134-3801

鶏肉学習会
10 月 11 日（木）10：00 ～ 13：00
豊田福祉センター（茂原市）
託児あり　定員 20 人　参加費 300 円
担当：塚本　0436-60-1583

槌田博氏講演会　放射能汚染！過去未来
今こそ知ってほしい私たちに必要なこと
10 月 12 日（金）10：00 ～ 12：00
センター松戸　託児あり　定員 25 人
担当：鈴木　047-385-4646

地域に広げよう！みんなのこども食堂
10 月 14 日（日）10：00 ～ 13：00
おおたかの森センター
加費費 200 円
担当：三宅　04-7134-3801

＊ここに掲載されているブロック企画は、所属ブロック以外の方でも参加できます。

詳しくは→
申込もできます。

問合わせ　組織部　宮間（みやま）
043-278-7172

暮らしのお金に
困っていませんか？

ご相談から融資まで
あなたに最適なサポート
ご相談はどなたたでも

tel：043-202-1471
受付時間　10：00 ～ 17：00
（日曜・祝日を除く）
生活クラブくらしと家計の相談室
千葉県千葉市中央区中央3- 9- 9 エレル千葉中央ビル
生活相談・家計再生支援貸付事業

こんにちは！赤ちゃん♪ せっけんプレゼント

せっけんを使うことで環境問題を考えるきっかけにしてほしいと、お母さんと赤ちゃんに、生活クラブのせっけんを贈ります。

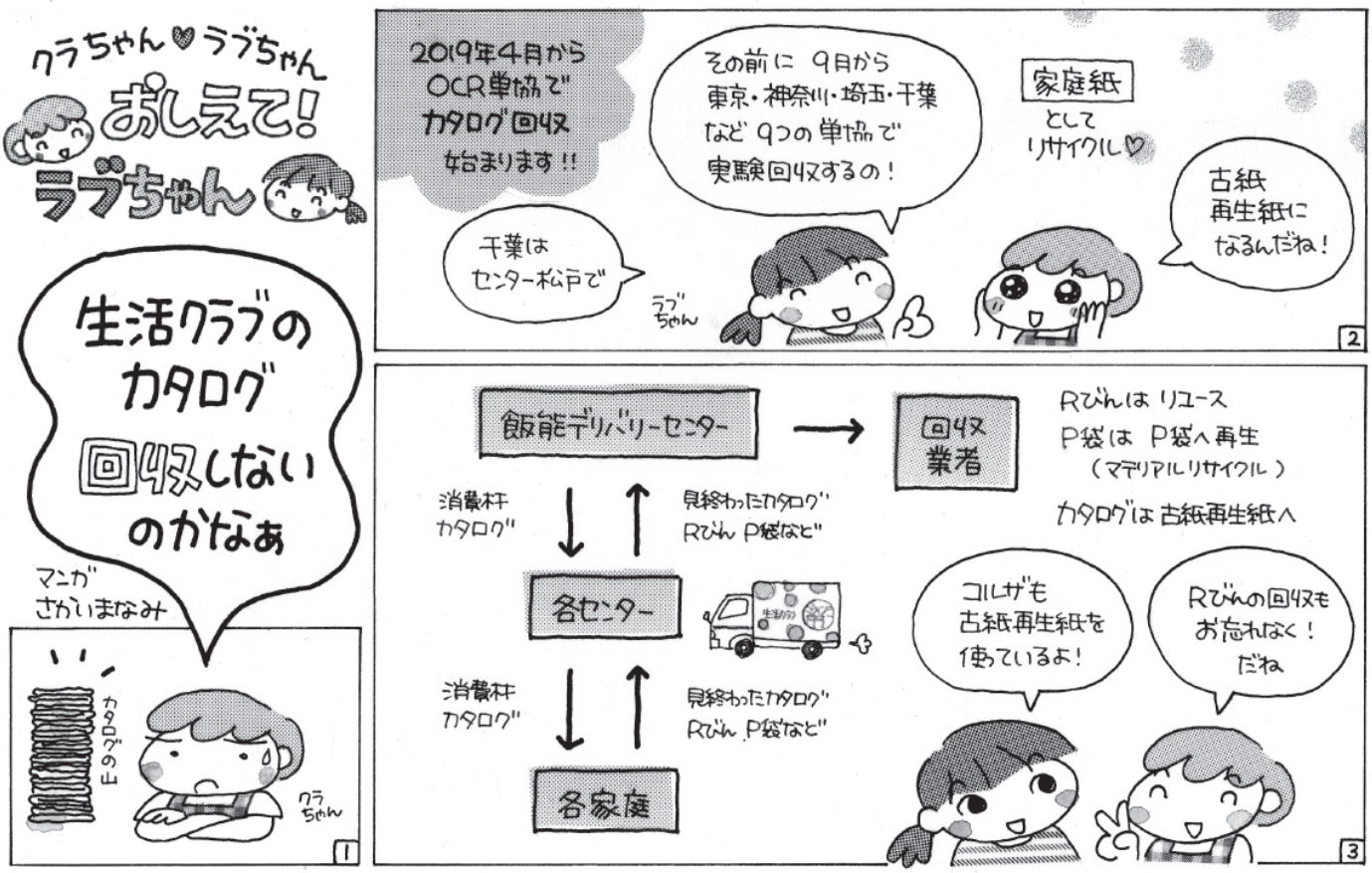
お誕生おめでとう！

北脇 十哉（とおや）くん	2017.08
細山 唯斗（ゆいと）くん	2017.08
菅田 紗希（さき）ちゃん	2017.12
福地　葉（よう）くん	2018.02
有本 梨久汰（りくた）くん	2018.03
田原 レナ ちゃん	2018.03
佐々木 那乃葉（なのは）ちゃん	2018.04
大木 音波（おとは）ちゃん	2018.05
宮坂 亘祐（こうすけ）くん	2018.06
小澤 優菜（ゆうな）ちゃん	2018.06
井出 雄大（ゆうだい）くん	2018.06
月居 みお ちゃん	2018.06
吉田 莉子（りこ）ちゃん	2018.06

＊プレゼント希望の方は、15 ページの申請書に必要事項を記入して提出してください。
＊対象は組合員のお子さん（1 歳未満の赤ちゃん。1 歳の誕生日の前日までに申請してください）
＊プレゼントはお手元に届くまでに 2 カ月以上かかる場合もありますので、ご了承ください。

＊イベント等の詳細は、各企画の担当まで。各ブロックのセンター・デポーへの問い合わせ（電話番号）は表紙下にあります。

クラちゃんラブちゃん＆申込書



申込書・申請書

コルザ 9 月号

配達時または、デポーフロアに提出して下さい。

組合員氏名		組合員番号		申込締切
9/28　3.11 その後		同伴者（　　人）お名前 (家族・組合員・員外)		9/21
託　児 (ひらがなで)	なまえ /　　(男・女)　　才　　ヵ月　アレルギー（有・無）		＊9/28 3.11 その後 の託児の締切は 9/14 です。	
	なまえ /　　(男・女)　　才　　ヵ月　アレルギー（有・無）			
こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント　申請　（太枠の組合員氏名と番号を記入してください）				1 歳の誕生日の前日までに申請
赤ちゃんのなまえ	ふりがな (男・女)	赤ちゃんの生年月	20　　年　　月生まれ	
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。（はい・いいえ）				
コルザアンケート コルザ作成の参考にさせていただきます。	コルザ____月号を読んで ①良かった・おもしろかった記事　タイトル「　　」 ____ページ ②その理由など ③その他　ご意見・ご希望など			

＊せっけんプレゼント希望の方は、申請書に必要事項を記入して提出してください。
対象は組合員のお子さんで、1 歳未満の赤ちゃん。1 歳の誕生日の前日までに申請してください。

＊いただいた個人情報は適切に管理し、目的以外には使用しません。

＊企画参加希望で詳細を知りたい方は、担当までご連絡ください。

本部宛　3.11 その後 / 宮間

事務局記入欄　　センター /　　デポー、配達コース（　　）-（　　）

9 月のデポー

イベント案内

デポーのお休み
10 月は **14** 日

8 月 24 日、デポー新松戸
リニューアルオープン
しました。

日	月	火	水	木	金	土
9 お休み	10	11	12	13	14	15 ほうきね牛入荷
	消費材紹介キャンペーン①（～ 16）				行楽フェア	
	北海道ウィーク（～ 16）					ビジョンフードの日
16 冷凍品お買い得 2 パック以上で 5 % off	17	18	19	20 平牧金華豚の日	21	22
	お菓子・和菓子ウィーク（～ 23）				秋の味覚フェア	
	消費材紹介キャンペーン②（～ 23）					
23 日曜市	24	25	26	27	28	29 直送さんまの日
	平田牧場飼料用米受賞キャンペーン①（9/24 ～ 30）					
	東北生産者ウィーク（～ 30）				秋の行楽お弁当フェア	
	消費材紹介キャンペーン③（～ 30）					
30						

バースデーフェア

9/21・22
松葉町

日曜市（9/23）

・ジュース類は特別箱値引き
　通常の箱値引きよりさらにお得
・日曜青果市で季節の野菜果物もお得！
レシピ提案：鶏モモ肉の黒酢ソテーサラダ仕立て

鶏モモ肉・純玄米黒酢 …… 5 % off

消費材紹介キャンペーン①（9/10 ～ 16）週替わり　10% off

飲むヨーグルト・焼売・焼きのり

北海道ウィーク（9/10 ～ 16）

北海道の提携生産者とその消費材をご紹介。

行楽フェア（9/14・15）行楽の準備はデポーでどうぞ！

開拓牛・平牧三元豚の焼肉用アイテム・
平牧三元豚豚肉スペアリブなど　5 % off

ビジョンフード鶏卵の日（9/15）

9 月のテーマは「鶏卵」。生活クラブの鶏卵の特徴や
おいしい食べ方などを試食と共にご紹介。

消費材紹介キャンペーン②（9/17 ～ 23）週替わり

プレーンヨーグルト・餃子・
国産十割こうじ味噌カップ・
信州トマトジュース（食塩添加）　10% off

お菓子・和菓子ウィーク（9/16 ～ 23）

小島米菓（おせんべい）・紅葉堂（カステラなど）・
こまつ製菓（和菓子）をご紹介。
こまつ製菓おすすめ品 …… 5 % off

秋の味覚フェア（9/21・22）秋を感じる野菜果物がお得

おすすめのお肉・炊き込みご飯の素など　5 % off

消費材紹介キャンペーン③（9/24 ～ 30）週替わり

牛乳たっぷり加糖ヨーグルト
肉厚わかめ 300g・国産ブレンドなたね油丸缶　10% off

東北生産者ウィーク（9/24 ～ 30）

わかめの重茂漁協や遊 YOU 米の JA 庄内みどりなどの東北の
生産者とその消費材を紹介します。

秋の行楽お弁当フェア（9/28・29）行楽弁当の準備もデポーで♪

丹精國鶏のモモ肉とムネ肉・
マルハニチロのお弁当用冷凍惣菜のおすすめ品　5 % off

平田牧場飼料用米受賞キャンペーン①（9/24 ～ 30）

飼料用米の取り組みが評価され「第 1 回飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト」で平田牧場が農林水産大臣賞を受賞しました。
受賞を記念してデポーでもキャンペーンを実施します。

この週は　豚肉（通常取り組み品）が　10% off

＊次の週は加工肉などがお得になります。

9 月の生まぐろ解体

9/15 浦安・/22 おおたかの森・/28 みつわ・/29 新松戸

＊水揚げがない場合は冷凍まぐろが入荷

銚子港直送さんまの日　9/29 午後入荷

当日の朝、銚子港に水揚げされたさんまが入荷！
＊天候や水揚げ状況により中止になる場合もあります

デポーメールマガジン
あなたの携帯にデポーの情報が届きます
無料登録受付中

デポー真砂　デポーみつわ台　デポー園生　デポー浦安
デポー新松戸　デポー大津ヶ丘　デポー松葉町　デポー木刈　デポーおおたかの森

ポイント実施中！ デポーカードの提示でポイントがつきます。
500 ポイントで 500 円のクーポン券発行。カードは班・個別配送の方もつくれます。詳しくはデポーフロアで。

＊ 2018 年 8 月 21 日作成　イベントや入荷予定、試食の内容などは変更になることもあります。